

社協 那加三地区だより

やさしい心とおもいやり あなたがひろげる福祉の輪



近隣の距離を縮めよう 那加三地区社会福祉協議会 会長 金原 孝



「もう最後だで、しっかり見ときゃあよ!」。令和3年は3月下旬にサクラが満開となった。たまたま訪れた公園の桜並木で、かなり高齢と思われる女性の車いすをお二人の女性が押しながらすれ違った直後に背中

で聞いた一声であった。「ん?」。なんか振り返ることのためらいの気持ちか働いて、敢えてそのままその場を離れた。

私事であるが、丁度5年前の3月下旬に「胃全摘出」をし、生まれて初めて入院生活を12日間ほど経験した。その時、

院内をリハビリ歩行している廊下の窓から見えた1本の桜が満開であった。それを見て「今年は見ることができたが、あと何回見られるだろうか」と誰にも言えず独り切実に思ったことを思い出した瞬間でもあった。

そんなこともあって、私にとっては少し「ドキッ!」と聞こえたが、恐らくあの言葉は、日頃の生活において培われて自然に出た「たっぶりの愛情と励まし」の意味が込められた一言であったと思ひ直した。そういった意味でこうして手をつないでくれる人がいることは幸せなことかと思う。

今、他人に迷惑をかけたくないと遠慮をしてお独りで不自由されておられる方は結構多いと思う。一方、自分でできる範囲であれば喜んでお手伝いしてもいいですよという人も結構多いと思う。だから、決してお独りで我慢なんかせず、まず「気楽に手を挙げればいいんだよ」という環境づくりも必要かと思う。そんなつながりづくりに、現在、日常的には、地域の民生・児童委員さん、近隣ケアグループの皆さんを中心として地域の方々にお骨折りに

ただいており大変感謝している。しかし、この1年以上にもなるコロナ禍のため、なんか近隣の距離が少し広がってしまったような気がしてならないが、今年度は新型コロナの推移を見極め、安全の確認をしつつ、できるかぎり積極的に活動を進めていきたいと考えております。そして活動を通じて、少しでも近隣の距離が縮まる環境づくりも目指していければ幸いですと考えておりますので、また1年間どうかよろしくお願ひ申し上げます。

校区の皆様へ わが校の福祉教育



コロナ禍における新たな場所づくりを 那加中学校 校長 廣瀬 良

本年度、那加中学校は201名の新入生を迎え新たなスタートを切りました。まだまだコロナの影響により様々な教育活動に制限はあるものの、一人ひとりの子どもたちが少しでも充実感を持ち、目を輝かせて活動できる場所になるよう、職員一同気持ちを新たにしているところです。

先日、那加第三小学校の3年生の子どもたちが本校のピオトープを訪れてくれました。多くの草花や生き物を目の当たりにして、目をキラキラさせながら楽しそうに活動していた姿が印象的でした。昨年度、地域の有志の方で結成された「つゆくさの会」の方のご協力もあり、本校生徒とともに環境整備を進めています。将来的には、地域の高齢者の方はもちろんのこと、福祉施設の方にも気軽に立ち寄りいただけるような場所になることが理想です。これまで行ってきた福祉交流に加え、地域とともにある那加中学校になることを一つずつ構築していきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



福祉の芽を育てる小学校教育 那加第三小学校 校長 加藤 浩幸

皆様、本年度より那加第三小学校に校長として着任いたしました加藤浩幸です。よろしくお願いいたします。さて、4月始業式の翌日、驚いたことがあります。児童が50回のボランティアを終え、活動を記録した手帳を、早速、校長室に持ってきたのです。その中には、自宅での掃除や、お手伝い、地域のゴミ拾いなど、小さなボランティアの積み重ねが綴られていました。その後も、毎日のように児童が活動報告に来てくれます。認定証を書き、達成記念の写真を撮って、廊下掲示として紹介しています。人のために動こうとする小さな奉仕の心が、那加第三小学校にはあふれており、福祉の芽となって育っていくものと信じています。

また、ボランティアの体験は、5年生の総合的な学習の時間で取り組む、「体の不自由な方の立場に立つこと」に役立つものであり、豊かな心を育みます。障がいのある方がどんな立場であるのかわかることから学びは始まり、自分たちのできることにについて見つめていく学習をしていきます。

地域の皆様の温かさや見守りを通して、優しい心を育む小学校教育が実現できており、地域の皆様のお力添えに感謝申し上げます。これからも、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。



担当ごあいさつ

各務原市社会福祉協議会 地域福祉課 主事 細野 誠

那加三地区社協担当の細野誠と申します。昨年度は新型コロナウイルスにより生活様式が大きく変わり、人が集まる行事を中止せざるを得ない状況になりました。行事やイベントが中止になると、外出や人と接する機会が少なくなりますが、皆さん工夫してできることを始めていました。マスクが手に入らない時にはマスクを作って配布したり、久しく顔を合わせていない方のお宅を訪問されたりしていました。

振り返れば例年通りの活動ができない1年でしたが、そこで立ち止まるわけではなく、「試行錯誤の1年」だったと思います。そんな年を過ごして、感染に留意したうえで活動する方法も浸透してきました。今年度は地域の皆さんの知識を出し合って、地域活動ができるよう前向きな気持ちで取り組んでいきます。



令和3年度 事業活動計画書

事業活動内容		
4	18日(日)	※那加まつり 餅まき(中止)
	20日(火)	総会(中止)
5	11日(火)	近隣ケアグループ代表者懇談会
	22日(土)	※各務原市 近隣ケア G研修会(中止)
	25日(火)	ボランティアハウス代表者懇談会
6	社協会員会費募集の推進(6/1~8/31)	
	15日(火)	那加三地区だより(73号) 発行
	15日(火)	第1回近隣ケアグループ研修会
	下旬	「暑中見舞い」ハガキ発送
7	20日(火)	福祉座談会
8	7日(土)	※夏祭り盆踊り大会
9	5日(日)	※各務原市福祉フェスティバル
	15日(水)	那加三地区だより74号発行
10	10日(日)	※那加三市民運動会
		チャリティーバザー(雨天:17日(日))
	22日(金)	中学生と福祉を学ぶ会(施設訪問)
	31日(日)	那加三ふれあい食事会
11	12日(金)	第2回近隣ケア G研修会
	24日(水)	※各務原市福祉大会
	下旬	「年賀」ハガキ発送
12	14日(火)	歳末福祉懇談会
1	11日(火)	友愛訪問
3	14日(月)	那加三地区だより(75号) 発行
	29日(火)	常任理事会

※印は地区以外の団体主催行事です。
 ※常任理事会は、原則毎月定例会開催。

令和3年度役員名簿

役職名	氏名	住所
理事・顧問	篠田 勲	本町
理事・会長	金原 孝	前洞新町3
理事・副会長 福祉推進員	金子 正之	前洞新町4
理事・副会長	今尾 省司	栄町
理事・会計 福祉推進員	吉岡 浩徳	西野町1
理事・企画委員長	津田 保弘	吾妻町
理事・広報委員長	阿部 道子	前洞新町5
理事・育成委員長	信田 充康	本町
理事・実行委員長	小野木 昭憲	東亜町
理事・実行委員	石田 文子	太平町1
理事・書記	柴山 成行	日之出町
理事・広報委員	杉山 守	前洞新町3
理事・実行委員	北川 弥生	前洞新町1南
理事・実行委員	宇野 澄美夫	幸町
理事・企画委員	森 涼	東亜町
理事・育成委員	藤木 晃子	東亜町
理 事	岩本 正雄	日吉町1
〃	小山 守世	日之出町
〃	谷口 正樹	楽天地町
〃	廣瀬 敬子	東那加町
〃	早川 啓子	西野町1
〃	牧田 さちを	太平町2
〃	河田 百合子	南栄町
〃	白井 隆司	吾妻町

役職名	氏名	住所
評議員 監事	丹羽 浩正	前洞新町4
〃	牧田 義弘	太平町1
評 議 員	浅野 誠	西野町1
〃	松尾 嘉人	西野町2
〃	今尾 幸夫	新那加町
〃	菊川 節	西那加町
〃	河田 忠明	楽天地町
〃	大野 一成	東那加町
〃	丹羽 保生	日之出町
〃	加藤 隆光	元町
〃	伊藤 伸久	前洞新町1北
〃	西澤 嘉祐	前洞新町1南
〃	日比野 淳治	前洞新町2
〃	今村 重俊	前洞新町3
〃	松本 博	前洞新町5
〃	前田 主	太平町1
〃	牧田 一成	太平町2
〃	水野 慎治	北栄町
〃	杉山 裕明	南栄町
〃	脇田 恭弘	門前町1
〃	山口 荘之	三井北町1

役職名	氏名	住所
評 議 員	伊藤 多喜雄	三井北町2
〃	岩井 慎司	三井北町3
〃	櫻井 知博	日吉町
〃	高木 道廣	吾妻町
〃	宮部 三郎	西野町1
〃	伏屋 英和	西野町2
〃	今尾 祥子	西那加
〃	堀部 君子	前洞新町3
〃	田中 勝彦	前洞新町5
〃	只野 博	東亜町
〃	横山 文彦	太平町2
〃	安藤 洋	門前町1
〃	松原 善次郎	栄町
〃	徳田 美智子	三井北町1
〃	岩井 利夫	三井北町2
〃	長尾 利佳	前洞新町5
〃	廣瀬 良	東亜町
〃	加藤 浩幸	東亜町
〃	川嶋 一生	那加前野町
〃	御宿 朋宏	東那加町
〃	額 恵美	東亜町

収入の部 令和3年度 収支予算書

※金額単位円

科 目	前年度予算	前年度実績	本年度予算	備 考
1 交付金地区社協会費募集	420,000	404,000	412,000	社協会員会費募集 計画1,030千円
2 メニュー事業助成金	951,000	697,210	854,100	
(1)近隣ケアグループ研修会	30,000	0	30,000	助成金 研修費年1回 3万円
(2)ボランティアハウス	396,000	384,000	360,000	南栄・新那加・太平1・西野1・三井北・前新3
(3)福祉座談会	19,000	20,753	29,000	助成金 コミュニティー会等 その他座談会100名×200円
(4)地区アンケート調査	4,000	0	0	助成金
(5)機関誌発行・地区だより	252,000	109,560	155,100	助成金14円×3,000部46,200円×2回 19円×3,000部62,700円
(6)ふれあい交流事業	150,000	145,993	100,000	助成金 ふれあい交流事業10万円が限度 食事会を計画
(7)たまには外で交流事業	0	0	30,000	屋外の広場で交流事業 広場等で体験、食事会等で交流
(8)ご近所「畑」事業	0	0	50,000	モテモテ事業 3地区限定 近隣ケア主体で活動 野菜の栽培
(9)赤い羽根共同募金特別事業	100,000	36,904	100,000	①歳末福祉懇談会②友愛訪問事業 最高10万円が限度
3 その他の収入	85,000	48,026	31,000	活動費30,000円 預金利息他1,000円
前年度繰越金	1,433,150	1,433,150	1,719,443	
収 入 合 計	2,889,150	2,582,386	3,016,543	

支出の部

科 目	前年度予算	前年度実績	本年度予算	備 考
1 交付金・共通実施事業	258,000	137,797	280,000	
(1)事務費	23,000	19,685	31,000	交付金 事務費 コピー代 写真代
(2)地区育成事業	190,000	90,392	200,000	交付金 総会 理事会 委員会 反省会 記念品 監査費
(3)福祉教育事業	45,000	27,720	49,000	交付金 暑中見舞い、年賀状、ポストカード賞状品 中学講義
2 メニュー事業助成金	1,147,000	697,210	1,096,340	
(1)近隣ケアグループ研修会	30,000	0	30,000	助成金 近隣ケアグループ研修会
(2)ボランティアハウス	396,000	384,000	360,000	南栄・新那加・太平1 西野1・三井北・前新3
(3)福祉座談会	19,000	20,753	29,000	助成金 ①地域コミュニティ会等 ②地域での福祉座談会
(4)地区アンケート調査	0	0	0	助成金
(5)機関誌発行・地区だより	252,000	109,560	197,340	助成金 73,74,75号発行 予算54,780円×2回 87,780円/回
(6)ふれあい交流事業	350,000	145,993	300,000	助成金 食事会、弁当、食材、余興等
(7)たまには外で交流事業	0	0	30,000	屋外の広場で交流事業 広場等で体験、食事会等で交流
(8)ご近所「畑」事業	0	0	50,000	助成金 近隣ケア主体での活動 野菜の栽培
(9)赤い羽根共同募金特別事業	100,000	36,904	100,000	
①歳末福祉懇談会	65,000	0	65,000	歳末福祉懇談会 講演 75歳以上
②友愛訪問事業	35,000	36,904	35,000	寝たきり老人お見舞い 介護者慰問
3 その他の事業	50,000	27,936	45,000	
(1)啓発事業	30,000	17,936	15,000	交付金 金調り福祉の店出店経費 その他
(2)渉外費	10,000	0	20,000	交付金 慶弔費その他
(3)助成金	10,000	10,000	10,000	交付金 那加西民児協への助成
支 出 合 計	1,455,000	862,943	1,421,340	
次 期 繰 越 金	1,434,150	1,719,443	1,595,203	
合 計	2,889,150	2,582,386	3,016,543	